

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、貴県の特段のご配慮により着実に改良整備が進められておりますことに感謝申し上げます。

当国道は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線であります。その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過しており、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい区間が残されているため、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大により歩道等交通安全施設の未整備区間では歩行者等が危険にさらされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で、最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。

さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、国が目指す「一億総活躍社会」の実現には、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓として幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められているところでありますが、正に国道349号はその機能を十分発揮できるものと我々は期待するものであります。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして国道349号が災害時における幹線道路等の補完機能を十分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所について、早急に改良整備を図られるよう強く要望いたします。

国道349号整備促進要望箇所

市町村名	要 望 箇 所		事 業 内 容
	箇所名（地名）	延長 m	
常 陸 太 田 市	常陸太田市磯部町 ～三才町、瑞龍町	750	道 路 改 良

市町村名	茨城県常陸太田市		
要望箇所	常陸太田市磯部町～三才町、瑞龍町		
	事業内容	道路改良	
	延長 (m)	750	
	<p>《現状と要望事項》</p> <p>那珂市杉～常陸太田市瑞龍町の区間 (L=10,400m) は、福島県及び茨城県北部から茨城県都である水戸市及び常磐自動車道那珂ICへのアクセス道路として重要な路線であります。</p> <p>しかしながら、当区間は、暫定2車線区間のため、朝夕の通勤時や行楽シーズンには大渋滞が生じていたことから、鋭意4車線化工事が進められてきたところであり、昨年8月までに幸久大橋を含む延長9,650m区間の4車線供用が図られ、渋滞の緩和等大きな成果を得られています。</p> <p>つきましては、残る常陸太田市磯部町～三才町及び瑞龍町区間 (L=750m) の早期完成を強く要望いたします。</p>		



